

題：新聞・雑誌のインターネットより優る点について

名前：

確かにインターネットで大量の情報が簡単に素速く手に入るようになったが、その他の点で新聞・雑誌はインターネットに優る所がいくつかある。それは元々両者がどういう目的に適しているのかにも関係している。例えばインターネットは写真、動画、文字等の情報を大量に、瞬時に世界中に発信できる。すぐに広めることができる分、間違いや不適切な表現も残っている可能性は高い。しかしインターネットは発信と同様、情報の訂正が非常に簡単に、素速く行うことができる。つまり大まかな情報を大量に素速く発信する事がインターネットの長所であり、その分信頼性はあまり強くないという側面がある。一方、新聞・雑誌は、一日の出来事を、定刻までに、会議などで話し合いながら記事を作成していく。紙に印刷するため、一旦できあがると訂正は即座にできず、読者は早くとも次の配布物の訂正欄を見なければ訂正を知ることができない。このため新聞・雑誌は確しい事実確

認や校正が行われ、記事に信憑性が生まれる。次に、扱う情報の量が圧倒的に違う点でも、インターネットを用いる方がいい場合と新聞・雑誌を用いる方がいい場合の二通りの場合が生じる。インターネットでは情報を求める人が明確に調べる対象を決めておかなければ情報が大量すぎてうまく情報収集できなると考えられる。それに比べて新聞・雑誌は一つ一つのサイズが小さく、全てを読み通すことができるし、特集記事や、自分の興味のある分野の雑誌などから、欲しい情報を的確に入手することができる。以上のように、新聞・雑誌は、インターネットのような早さや扱える情報の多さにはあるが、記事の信憑性や情報収集の効率から言えば、優っている点はいくつもあり、これから新聞や雑誌は必要であると思われる。